

脱北者は「邦人の娘」

東京家裁 日本定住へ異例手続き 供述で認定

東京家裁は27日までに、北朝鮮で生まれ脱北した30代の女性を日本人の娘と判断、日本国籍があると認め、日本の戸籍への登録を許可する決定をした。女性の祖母は戦後の帰還事業で北朝鮮に渡った在日朝鮮人の日本人妻。母はその娘で日本国籍があったが、血縁関係を証明する書類はなく、家裁は女性の供述をもとに審査。「具体的に、他の親族の供述とも整合する」とし、日本人女性との親子関係を認定した。

日本に「つながりがある脱北者」が日本に定住する際、法務省の「帰化申請手続き」で日本国籍を得るのではなく、親子関係の立証をして戸籍登録許可を受けるのは異例。専門家は「初めてではないか」「脱北者を得る道を広げた形。決定

スム?

戸籍への登録 戸籍がなかったり自分の戸籍の所在が分からなかったりする人を戸籍に登録する方法の中に、家裁で調査や審理を経て許可を受ける方法があり「就緒許可」という。中国残留孤児や、フィリピン残留日系人なども日本の戸籍の登録を求め、これらのケースでは戸籍の登録が事実上、国籍の回復や取得の意味を持つ。

政治や生活環境を苦に脱出した脱北者の中には、戦後日本から北朝鮮に渡った在日朝鮮人やその日本人配偶者の子孫など、日本に「つながりがある人も多く、北朝鮮難民救済基金によると現在日本に定住している人が200人以上いる。脱北すれば通常韓国国籍が得られるが、日系脱北者が日本国籍を得るには法務省の「帰化申請」手続きを使うなどの方法がある。韓国籍のまま日本に在留資格を得て生活を安定させる場合もある。

女性は共同通信の取材に、日本国籍を得て国内での権利や自由が拡大し「羽を付けてもらい、飛びたいところを飛べるようになった気持ち」と述べる一方、日本の脱北者や北朝鮮在住日系人の存在に「関心を持ってほしい」と訴えた。

女性は1990年代後半に中国に脱出、8年後にタイ経由で韓国に入った。2012年から日本で暮らしている。気象庁は29日から気象衛星「ひまわり8号」が高度3万6千から撮影した黄砂の画像を1時間おきにホームページで公開する。これまでは各観測点の視程(見通せる距離)を3時間おきに地図上で表示してきたが、今後は砂の流れを人が目で見たような色で再現した画像・動画も見られる。

気象庁によると、現在は日中や中国、韓国や北朝鮮などの各観測点の視程を地図上で表示している。新たに公開される画像の1種が「トゥルーカラー再現画像」。

「再現画像」。日中は茶色の黄砂の広がりを目することができ、また、太陽光が当たらない夜間は何も写らないため、地面や大気から放射される赤外線射の強さを白黒の濃淡で表し、「赤外面像」を代用する。

リレーアタックで車盗難

要注意!!

車のキーを近づけるだけで、電波でドアのロックを解除しエンジンを開始できる「スマートキー」の機能を悪用した疑いのある盗難未遂事件が、大阪府内で確認された。離れたキーと車の電波を特殊な機械で中継して解錠する「リレーアタック」と呼ばれる新たな手段で、今後国内で被害が広がる恐れがある。昨年9月下旬、大阪府東大阪市の住宅。白いマスク姿の男が玄関に近づき、アンテナの付いた機械を住宅に向けて、敷地に止めていた国産高級車のハザードランプが点滅、わずか数秒ほどでドアロックが解除された。防犯カメラが一部始終を捉

解錠→エンジン始動



「リレーアタック」とみられる手口の様子を捉えた防犯カメラの映像。男(右側)が機械を住宅に向けて、手前の車両の奥に止めていた国産高級車のドアロックが解除された。2018年9月、大阪府東大阪市(エムズスピード大阪提供)

出る電波を特殊な機械で増幅させ、家の近くでもう1人が中継し屋内にあるキーに送信。キーの折り返し電波を車に送ると「近くにキーがある」と認識し解錠、エンジンがかかる仕組みだ。通常、車の電波は1メートルしか届かないが、東大阪市の事件では車とキーは約10メートル離れた。

自動車評論家の国沢光宏さんによると、リレーアタックは欧州でまず確認され、2016年にドイツの自動車業界団体が注意喚起した。昨年以降、東大阪市のほか大阪市でも同様の手口によるとみられる盗難未遂被害が発生。捜査関係者は「痕跡が残らないため、可能性がある」と指摘する。

こうした被害を防ぐためには、電波を遮断する特殊な素材を使ったキーケースが有効だ。一部の車種では、キーから電波を発信しない「節電モード」の設定も導入されている。国沢さんは「在宅中だけでなく、外出先でも電波を通さないケースや、ボーチに入れて自衛する必要がある」と話している。

特殊な機械で電波増幅

家の中のスマートキー

仲間の1人が車に乗り込んだが、通行人に気付かずに逃走。所有者の男性(37)が確かめると、エンジンを2回始動しようとした形跡があった。男性は「こんなに簡単に解錠するとは。メーカにはきちんと対策を考えてほしい」と話す。

自動車用品店「エムズスピード大阪」(東大阪市)によると、リレーアタックは1人が車から



資産探る「アボ電」巧妙化

振り込め詐欺グループなどが、被害者の個人情報を調べ、アボ電(アポイントメント電話)の手口が巧妙化し、増加している。詐欺だけでなく、11日に東京都渋谷区の高輪夫婦が現金約2千万円を奪われた強盗致傷事件でも、息子を装って自宅に現金があるかどうかを尋ねる電話があった。捜査関係者は「アボ電は事件の前兆」と指摘。渋谷の事件を受け、「強盗の手口としては新しい。こうしたケースが増えるのではないかと懸念

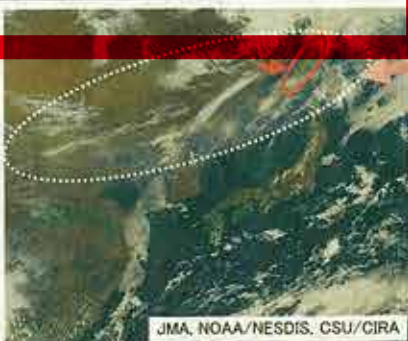
黄砂の動きリアルに

気象庁 ひまわり画像HP公開

気象庁は29日から気象衛星「ひまわり8号」が高度3万6千から撮影した黄砂の画像を1時間おきにホームページで公開する。これまでは各観測点の視程(見通せる距離)を3時間おきに地図上で表示してきたが、今後は砂の流れを人が目で見たような色で再現した画像・動画も見られる。



2018年3月28日の黄砂観測実況図
黄砂のトゥルーカラー再現画像(左)とこれまでの観測実況図。再現画像の赤い円内は黄砂が分かりやすく観測された部分(気象庁提供)



2018年3月28日15時のトゥルーカラー再現画像
黄砂のトゥルーカラー再現画像(左)とこれまでの観測実況図。再現画像の赤い円内は黄砂が分かりやすく観測された部分(気象庁提供)

片山学園中学 入試に131人

片山学園中学校の2019年度前期一般入試が27日、富山県東砺波(大山)の同校であり、県内外の小学6年生131人が挑んだ。合格発表は29日。

国語、社会、算数、理科の筆記試験のほか、「将来の夢がテーマの作文、4〜5人に分かれての集団面接を行った。試験に先立ち、片山学園理事長が「今まで鍛えた力を発揮し、ベストを尽くして頑張ってください」と激励した。合格発表は29日午後1時、同校ホームページ上で発表されるほか、30日以降に郵送でも通知する。

後期一般入試は2月10日に行う。19年度の募集定員は、男女に終了した推薦入試や、関東、東海、関西会場で行われた見聞入試も含めて計120人。



試験開始の合図とともに、斉に問題を解き始めた受験生。片山学園中学校

富山育英センター(片山)の理事長の県立高校入試見聞入試も合わせて計120人。

渋谷で2000万円強盗致傷

2日前 息子装い 現金の有無確認

日本や周辺の上空に運ばれてくる砂ほごりのこと。洗濯物汚れたり、視界不良のため交通に影響したりする。ため交通に影響したりする。とがある。

気象庁によると、現在は日中や中国、韓国や北朝鮮などの各観測点の視程を地図上で表示している。新たに公開される画像の1種が「トゥルーカラー再現画像」。

「再現画像」。日中は茶色の黄砂の広がりを目することができ、また、太陽光が当たらない夜間は何も写らないため、地面や大気から放射される赤外線射の強さを白黒の濃淡で表し、「赤外面像」を代用する。

富山育英センター(片山)の理事長の県立高校入試見聞入試も合わせて計120人。

富山育英センター(片山)の理事長の県立高校入試見聞入試も合わせて計120人。